

# すき くわ 勤と鉄

2024年度 第二号

○農業推進係、東部普及指導第一係、同第二係  
〒527-8511 東近江市八日市緑町7-23  
TEL 0748(22)7727・7728  
FAX 0748(22)1234

○西部普及指導係  
〒521-1301 近江八幡市安土町大中516  
TEL 0748(46)6504  
FAX 0748(46)7411

## 祝 津田干拓地果樹生産組合が初収穫されました！

近江八幡市津田干拓地では、農地造成工事完了後の農地活用として、市、土地改良区、JA、当課が連携して果樹産地の育成に取り組んでいます。令和4年度には「津田干拓地果樹生産組合」が発足し、同年度からナシ、ブドウの植栽が始まっています。

ブドウ部会では、今年度部会として初収穫を迎えました。まだ樹が植栽後2年目と若く、部会員も経験が浅いため様々な苦労がありましたが、無事に初収穫を迎えることができ、部会員も手ごたえを感じています。

一方、ナシ部会では、販売面やブランド作りについて、ワークショップを通じて話し合いを進めています。ナシの樹は現在育成中で、来年度から本格的に収穫が始まる予定です。

また、8月24日には、両部会のメンバーが近江八幡市内の量販店でPRイベントを行い、生産組合のナシ・ブドウを多くの方に認識していただくことができました。

当課は引き続き関係機関と連携し、産地の発展を支援していきます。



初収穫の記念撮影



ナシ部会でのワークショップの様子

**P2 集落営農法人の今後について皆さんで考えてみませんか？**

**P3 令和7年度から環境保全型農業直接支払交付金制度が変わります  
特定外来生物に注意！**

**P4 短茎小ギクの栽培に取り組んでみませんか？  
東近江地域の表彰者を紹介します!!**

# 集落営農法人の今後について皆さんで考えてみませんか？

滋賀県では、全国に先駆けて多くの集落営農組織が設立され、2010年代に入ってから基盤強化を図るために法人化が進められ、現在東近江管内には約190法人が存在します。

しかし、集落営農組織が設立されてから長い所では20年以上が経過しメンバーの交代が求められる中で、現在多くの法人では人材の確保に苦慮されています。定年延長や他産業における人材不足、農村人口の減少等要因は多岐にわたり、その解決は容易ではありません。

そこで、集落の農地を守る方法について、集落営農法人の皆さんに自治会の人たちも加えて、皆さんで考えてみてはいかがでしょうか。今回はその手法についてお伝えいたします。

## ①『人材の棚卸』をしましょう

まずは法人の組合員について、5年先、10年先に誰が活躍できているかを一覧にまとめましょう(図1)。一覧にすることでいつ人材が不足するかが明確になってきます。

|              | 令和6年     | 令和7年 | 令和8年 | 令和9年     | 令和10年 | 令和11年<br>(5年後) | 令和16年<br>(10年後) | 令和21年<br>(15年後) |
|--------------|----------|------|------|----------|-------|----------------|-----------------|-----------------|
| Aさん<br>(78才) | 主カメンバー   |      | 80才  | サポートメンバー |       |                | 引退?             |                 |
| Bさん<br>(70才) | 主カメンバー   |      |      |          |       |                | 80才             |                 |
| Cさん<br>(67才) | 主カメンバー   |      |      |          |       |                |                 |                 |
| Dさん<br>(63才) | 再雇用退職    |      |      | 主カメンバー   |       |                |                 |                 |
| Eさん<br>(58才) | 退職後リターン  |      |      | 主カメンバー   |       |                |                 |                 |
| Fさん<br>(45才) | サポートメンバー |      |      |          | 早期退職  |                | 主カメンバー          |                 |

図1 人材の棚卸の例

## ②アンケートの実施

『人材の棚卸』で人材が不足することが明確な場合は、集落の人々に対し法人活動への参画の意向に関するアンケートを実施しましょう。この時大切なことは、農家・非農家、年齢、性別関係なく、アンケートの対象を広げて実施することです。

アンケートで新たな人材を確保できそうなときは、『人材の棚卸』の一覧に追記します。

## ③人材の状況から方向性を考える

将来を含めた人材の状況が明らかになったら、今後、どのような方向に進むべきかを皆さんで考えましょう。例として(図2)に示す方向性が考えられます。

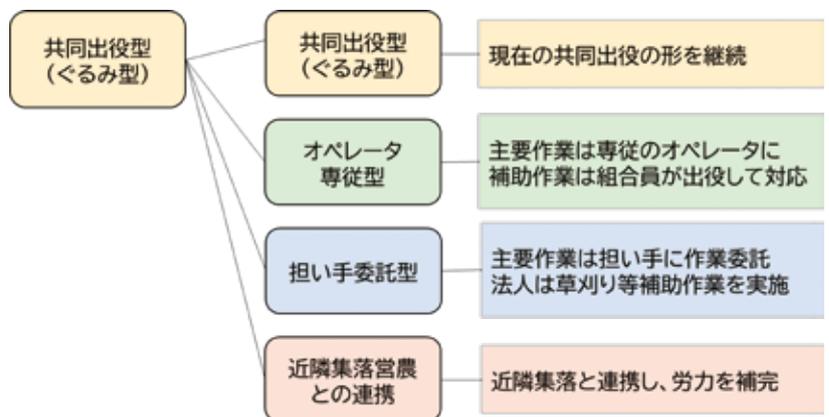


図2 想定される今後の法人の運営体制の例

詳しい進め方について関心を持たれた法人の方は、当課までご相談ください。

## 令和7年度から環境保全型農業直接支払交付金制度が変わります

令和7年度に環境保全型農業直接支払交付金制度(以下、環直制度)が改正され、支援対象となる取組メニューや要件が変更となります。変更される取組の一つに、「緩効性肥料の利用」があり、令和7年度からこの取組で支援を受ける際は、プラスチックを使用しない緩効性肥料の利用が必要となります。

### 取組「緩効性肥料の利用」の変更点

| 令和6年までの取組 |                      |    | 単価<br>(円/10a) |    | 令和7年からの取組 |                      |    | 単価<br>(円/10a) | 主な変更点                      |
|-----------|----------------------|----|---------------|----|-----------|----------------------|----|---------------|----------------------------|
| ⑪         | 緩効性肥料の利用<br>および長期中干し | 水稲 | 4,000         | 継続 | ⑪         | 緩効性肥料の利用<br>および長期中干し | 水稲 | 4,000         | プラスチックを使用した<br>緩効性肥料は交付対象外 |
| ⑫         | 緩効性肥料の利用<br>および省耕起   | 野菜 | 8,000         | 廃止 | ⑫         | 緩効性肥料の利用<br>および省耕起   | 野菜 | —             | 野菜での取組は廃止                  |

このほかにも、「⑤有機農業」や「⑥堆肥の利用」、「⑫殺虫殺菌剤・化学肥料を使用しない栽培」などの複数の取組メニューが変更となります。また、「④冬期湛水」「⑬水田ビオトープ」「⑰長期中干し」は多面的機能支払交付金に移行される予定です。

なお、上記内容は令和6年12月時点の情報となりますのでご注意ください。

制度改正の詳細や支援要件等の変更について、詳しくは当課または各市町農政主務課へお問い合わせください。

## 特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」「オオバナミズキンバイ」に注意!

「ナガエツルノゲイトウ」、「オオバナミズキンバイ」は、水中でも陸上でも生育が可能で茎の断片からも増殖することから、一度農地へ侵入、定着すると根絶は困難です。この2種は特定外来生物に指定されており、①輸入、②飼育・栽培や保管・運搬、③野外に放つこと等が原則禁止されています。

近年、東近江地域でも水田や水路で両種の発生が確認されています。侵入した場合は急速に繁殖し、農業用水利施設の流れをせき止めたり、コンバインを詰まらせたり、農作業に支障をきたす恐れがあるため、早期発見、早期駆除が重要です。侵入していない農地への拡散を防ぐことも重要です。農地等で発見したら、まずは当課にご連絡ください。

### ナガエツルノゲイトウ



夏～秋に球状の  
白い花を付ける  
葉は節から一対で生える  
(対生)  
生育すると先がやや尖る

### オオバナミズキンバイ



黄色の5弁花  
(径4cm程度)  
花茎からは細長い葉  
節から互い違いに生える  
(互生)

## 短茎小ギク栽培に取り組んでみませんか？

**挿し芽(育苗):3月下旬、定植:4月下旬、収穫:7月下旬～**

スーパー等の量販店で販売されている仏花向けの組花素材として、短茎小ギクが栽培されています。短茎小ギクとは、長さ45cmに仕立てる小菊のことであり、従来の小ギクに比べ、短期間で省力的な栽培が可能です。現在、生花市場を通じて大阪の組花加工業者に供給されており、大変好評で供給が追いついておらず、さらなる増産を要望されています。少ない面積からの栽培も可能です。栽培に興味のある方は、当課までご連絡ください。



関西仏花



箱詰めされた短茎小ギク



短茎小ギク栽培ほ場

## 東近江地域の表彰者を紹介します!!

### ★黄綬褒章 蔵尾 忠氏

蔵尾忠さんは平成20年に日野町で(有)蔵尾ポークを設立し、養豚業を経営されています。

バームクーヘンを飼料に配合していることからバームクーヘン豚と呼ばれ品質、評判ともに高いものとなっています。また、良質な豚ふん堆肥を地域農家に還元する資源循環型の取組もされています。

これらの努力から、「農業に精励し、他の模範となるような技術や業績を有する方」として黄綬褒章を授与されました。



蔵尾 忠氏

### ★第63回農林水産祭 天皇杯 (株)イカリファーム

(株)イカリファーム(近江八幡市)は土地利用型作物に取り組まれ、パン用小麦における生産～販売を自社で完結する仕組みを作られました。

地域の担い手としても活躍され、若い人材の雇用の増加、また女性の活躍の場を積極的に創出している点が評価され今回の受賞に至りました。今後も自社ブランドの全国展開等の目標を掲げられ、その実現に向けた先進的な農業、経営の展開を進められています。



イカリファーム経営者夫妻

### ★豊かなむらづくり全国表彰事業 農林水産大臣賞 (農)ジョイファーム山中

(農)ジョイファーム山中(竜王町)は水稻や稲WCSの生産を行っています。「みんなの力と知恵で作ろう未来のジョイファーム山中」をスローガンに、自然環境や労働環境に配慮した農村づくりを進めてこられました。この度、農業振興を中心とした地域活性化が評価され、受賞につながりました。今後も、集落一丸となって取り組みを進められます。



ジョイファーム山中のみなさん